



佐世保市立金比良小学校 学校だより

わかしお

【学校 HP アドレス】

<http://www.city.sasebo.ed.jp/es-konpira/>



令和7年6月4日第8号

佐世保市立金比良小学校

児童数:109名 (R7.6.4現在)

Tel0956-22-8300

(文責 校長 竹川 宏一)



いのちをみつめる日(6月はいのちかがやく強調月間)

今年度は6月1日が日曜日であったため、5月30日(金)を本校の「いのちをみつめる日」としました。この日は全校朝会を開き、子どもたちに「いのち」についての校長講話を行いました。

- 元気なあいさつをありがとう。人間が生み出したものの中で、あいさつの言葉ほど素晴らしいものはありません。会う人と呼びかけあう言葉はお互いの気持ちをぐんと近づけてくれます。登下校の時に会う見守り隊の方へも自分からあいさつができる人でいてください。
- 「いのちがある」とはどういうことでしょうか。友達と遊んだりできる、笑ったり楽しいおしゃべりができる、悩んだり悲しんだりできるのは「いのちがある」からなのです。
- リセットできるのはゲームの中だけ。人のいのちは一度亡くなったら二度と戻ってきません。
- 「いのちのおはなし」という日野原重明さんのかかれた絵本をもとにお話をします。
大人の心臓は1分間に60回から80回打ちます。子どもの心臓は生まれたときは1分間に130回くらい、10歳の方は90回くらい打ちます。校長先生の心臓は計算したら1日に10万8000回、1年で三千六百二十八万八千回、校長先生の年齢でこれまで、二十億六千八百四十一万回も休むことなく打ち続けているんです。皆さん一人一人の心臓も生まれてから寝ているときも休むことなく打ち続けているんです。これはとてもすごいことです。
- 「いのち」というのは心臓が動いている「時間」でもあるのです。こんなかけがえのない「いのちの時間」を大切に使うために二つのことを話します。一つは「自分らしさを大切にするためにいのちの時間を使ってほしい」ということ。二つ目は「周りの人の心を感じ取るためにいのちの時間を使ってほしい」ということです。自分の好きなことや興味のあること、得意なこと、不得意なことを含めて自分らしさを大切に、自分を好きになってほしいです。そして友達が困ったり、悩んだりしていた時には、「どうしたの？相談に乗るよ」など相手の気持ちを感じとれる人になってほしいと思います。
- ぜひ学級でも「自分のいのち」「周りの人のいのち」について考え、「いのちの時間」をどのように使っていたらいいのか考えてほしいと思います。
- お互いのいのちを大切にするために「学級のみなを自分も支えるし、みんなからも支えてもらえる」そんなすてきな関係をつくれるようにして欲しいと願っています。

子どもたち一人一人がかけがえのない「いのち」を子どもたちがお互いに大切にしながら過ごしていくこと、私たち大人も自分のいのちも周りの人のいのちも大切にしていくことを子どもたちに伝えていくことが大事なことだと思っています。

～あいさつで心をつなごう、ことばを大切にしよう～